

事務事業評価シート（評価実施年度：平成27年度）

上位の施策名称	施策I-2-1 売れる農林水産品・加工品づくり
---------	-------------------------

1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長	農地整備課管理監（国営事業対策室長） 田和 貴	電話番号	0852-22-6535
----------	-------------------------	------	--------------

事務事業の名称	国営造成施設管理事業			
目的	(1) 対象	国営土地改良施設を管理する市町等		
	(2) 意図	国営土地改良施設等の適正な管理を通じた安定的な農業生産と公益的な多面的機能の発揮		
事業概要	・安定的な農業生産と公益的な多面的機能を発揮させるため、国営土地改良施設を管理する市町等へ適切な管理に必要な経費の支援を行う。			

2. 成果参考指標

(1) 成果参考指標	指標名	式・定義	年度					単位	
			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度		
事故なく又は事故後に早期復旧し機能を発揮した施設数の割合	指標名	(国営造成施設のうち管理対象施設で) 事故なく又は事故後に早期復旧し機能を発揮した施設数の割合	目標値	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	%
	式・定義	(総施設数(74) - 事故等により営農・多面的機能に支障が発生した施設数) / 総施設数(74)	実績値	100.00	100.00	100.00	100.00		%
	達成率			100.00	100.00	100.00		%	
指標名	指標名		年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	単位
	式・定義		目標値		0.00	0.00	0.00	0.00	
	達成率		実績値	0.00	0.00	0.00	0.00		%

3. 事業費

	26年度実績	27年度計画
事業費(b) (千円)	60,781	55,934
うち一般財源(千円)	21,501	19,656

4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した(実施予定、一部実施含む)
---------------------	------------------------

5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

国営造成施設管理体制整備促進事業を6地区、基幹水利施設管理事業を2地区へ導入など、国の補助事業を有効に活用している。

6. 成果があったこと（改善されたこと）

施設の適正な管理が行われることにより、安定的な農業生産が行われている。
また、洪水防止機能や防火用水機能など多面的機能が発揮されることにより、地域住民の安心安全な暮らしに寄与している。
今年度から、益田地区国営農地開発地へ国営施設応急対策事業を導入することができた。

7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

- ①困っている「状況」
施設に故障や事故が発生した場合、営農や多面的機能の発揮に支障をきたす恐れがある。施設の維持管理に対する地域住民からの支援が十分得られていない。
- ②困っている状況が発生している「原因」
施設の老朽化が進行している。
施設の維持管理に対する地域住民の理解が不足している。
- ③原因を解消するための「課題」
更新事業等の導入を適切な時期に行う必要がある。
施設の維持管理に対する地域住民への理解の促進。

8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

施設の機能診断の実施や更新事業等の導入が、適切な時期に行われるように施設管理者へ働きかけを行う。
地域住民に対し、多面的機能を発揮している本対象施設の広報啓発、清掃活動を通して維持管理への参画を進めるため市町村等との調整を行う。

◎課(室)内で事務事業評価の議論を行うにあたっては、本評価シートのほか、必要に応じて、「予算執行の実績並びに主要施策の成果」や既存の事業説明資料などを活用し、効率的・効果的に行ってください。

◎上記「5. 評価時点での現状」、「6. 成果があったこと」、「7. まだ残っている課題」、及び「8. 今後の方向性」について、議論がしやすいように、「5. 評価時点での現状→6. 成果があったこと」、又は「5. 評価時点での現状→7. まだ残っている課題→8. 今後の方向性」が一連の流れとなるよう、わかりやすく、ストーリー性のあるシート作成に努めてください。

9. 追加評価（任意記載）